

● 診療科の特色

当院は国の政策医療としての成育医療の基幹病院であり、一般小児病棟は50床を有し、新生児病棟の50床と併せて100床の小児病棟を擁し、子ども病院に準ずる扱いで、岡山県内で唯一、国立成育医療センターをtopとする小児総合医療施設協議会に加盟を許されています。

小児科では高度専門医療と救急医療を2本柱として、あらゆる小児内科疾患に対応すべき体制を24時間整えています。年間新入院患者数は一般小児科だけで約2,000名であり、救急センターの年間受診者数は時間外選定療養費を徴収しているにも拘らず約7,000名で、救急での入院率は20～30%と非常に高率です。専門領域は多岐にわたります。内分泌領域では、成長ホルモン治療患者数は中四国1を誇っています。また、岡山市内で唯一小児の透析治療を担っています。その他、感染性疾患はもちろんのこと、アレルギー疾患、神経疾患、代謝疾患等を重点的にカバーしています。心臓疾患に関しては岡山大学から毎週、また小児整形に関しても旭川荘療育医療センターから毎月専門医が派遣されています。従って、臨床研修において、専門性の高い疾患から急性疾患に至るまで、その数、内容共に十分な症例を供給できます。また、教育にも力を入れており、月・水・金に入退院カンファが有り、木曜日には小児外科・新生児科と合同のカンファが有り、ここでは症例発表及びスタッフによるshort lectureがあります。更に抄読会・輪読会やフィルムカンファなども若手中心に行われています。週1回早朝に多職種による救急トレーニングも開催しています。岡山大学や他大学からの医学生実習も受け入れています。一方、定期的にセミオープンで全国規模の救急研修会や成育研修会を開催しており、また当科主催で、県内若手勤務医のための勉強会も年2回開催しています。もう一つ当院の特徴的なものとして臨床研究部の存在があります。当科は成育医療推進研究室に属しており、臨床研究を行うことができると共に、研究予算が得られます。また2020年度からはCOVID-19の流行により小児陽性患者・小児濃厚接触者の入院治療に関わり、小児COVID-19感染の臨床像の解明を進めるためデータ解析を進めています。

このように、臨床研修だけでなく、臨床研究に至るまで幅広い研修を受けることが可能です。国立病院機構ネットワークを通じて内地留学や、国外留学制度も取り入れています。後期研修においては年間約400名の新入院症例を有する新生児科と約800の手術件数を誇る小児外科における研修も含まれます。

● 入院診療実績

1. 2021年度 小児科疾患別一覧	ICD-10	患者数	死亡患者数
感染症および寄生虫症	A00-B99	119	1
新生物	C00-D48	16	0
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	15	0
内分泌、栄養および代謝疾患	E00-E90	163	0
精神および行動の障害	F00-F99	7	0
神経系の疾患	G00-G99	90	1
眼および付属器の疾患	H00-H59	1	0
耳および乳様突起の疾患	H60-H95	6	0

循環器系の疾患	I00-I99	15	2
呼吸器系の疾患	J00-J99	338	1
消化器系の疾患	K00-K93	37	0
皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	16	0
筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	76	0
腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	71	0
周産期に発生した病態	P00-P96	7	0
先天性奇形, 変形および染色体異常	Q00-Q99	16	0
症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99	55	1
損傷, 中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	124	0
原因不明の新たな疾患	U00-U79	23	0
総 計		1195	6

2. 特殊検査法		症例数	合併症の有無とその内容	死亡退院数
1	心エコー	1091	なし	0
2	腎生検	11	なし	0
3	下垂体機能検査	69	なし	0
4	脳波	599	なし	0
5	経口負荷試験(食物アレルギー)	入院 30	なし	0
6	経口負荷試験(食物アレルギー)	外来 62	なし	0

3. 特殊治療法	症例数	処置合併症とその内容	長期予後
酵素補充療法	9	特記事項無し	QOL の向上、延命効果
在宅腹膜透析	2	特記事項無し	QOL の向上、延命効果
在宅酸素療法	34	肺 炎	QOL の向上、延命効果
栄養指導療法(外来)	20	特記事項無し	経口摂取制限解除
アレルギー児への予防接種	10	特記事項無し	
在宅人工呼吸器	24	特記事項無し	QOL の向上、延命効果

4. 教育・研修	開催頻度		開催頻度
入退院カンファランス	3 回/週	合同カンファランス	1 回/週
部長・医長回診	2 回/週	輪読会	1 回/週
抄読会	1 回/週	レントゲンカンファランス	1 回/2 週
PALS に準じた多職種シミュレーション	1 回/週	レジデント症例検討会	1 回/2 週

その他

- 1) 第 1 回 OMC 小児 Web カンファランス 開催

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) Takahiro Namba¹, Yuki Ebuchi¹, Keiko Manabe², Junya Shimizu¹
Infantile leukocytoclastic vasculitis caused by enterotoxin-producing methicillin-sensitive *Staphylococcus aureus*.
Pediatric Dermatology,38(5), 1288-1291, 2021/6
- 2) Naomi Matsumoto, Toshihide Kubo, et al.
Trajectory of body mass index and height changes from childhood to adolescence: a nationwide birth cohort in Japan.
Scientific Reports,26(11), 23004,2021 Nov
- 3) Akihito Takeuchi, Takahiro Namba, Naomi Matsumoto, Kei Tamai, Kazue Nakamura, Makoto Nakamura, Misao Kageyama, Toshihide Kubo, Hirokazu Tsukahara and Takashi Yorifuji
Preterm birth and Kawasaki disease: a nationwide Japanese population-based study.
Pediatric Research, 2021 Oct
- 4) Yousuke Higuchi, Kosei Hasegawa, Toshihide Kubo, Hiroyuki Tanaka, Hirokazu Tsukahara
The clinical course of Rathke's cleft cysts in pediatric patients: impact on growth and pubertal development
Clinical Pediatric endocrinology,31(1), 38-43,2022 Jan
- 5) Takahiro Namba, Motoharu Ochi, Hiromi Ogura, Hitoshi Kanno, Yousuke Higuchi
Infantile pyknocytosis with marked hemolytic anemia
Pediatrics and Neonatology,62(5), 563-564, 2022 Sep
- 6) Hiroki Tsuchiya, Junya Shimizu, Takahiro Namba, Yasuo Nakahara, Toshihide Kubo
Acute pancreatitis during long-term peritoneal dialysis management associated with the PFD-1 mutation
Pediatrics International, 64(1), e14925, 2022 Jan
Phenotypes of SMA patients retaining SMN1 with intragenic mutation
Brain & Development, 43(7), 745-758, 2021 Aug
- 7) Akihito Takeuchi; Takushi Inoue; Makoto Nakamura, Misao Kageyama; Tomoyuki Akiyama; Katsuhiko Kobayashi
Case Report: High-Gamma Oscillations on an Ictal Electroencephalogram in a Newborn Patient With Hypoxic-Ischemic Encephalopathy
Frontiers in Pediatrics Front Pediatr. 2021 Oct 1;9:679771
- 8) Takahashi Y; Ota A; Tohyama J; Kirino T; Fujiwara Y; Ikeda C; Tanaka S; Takahashi J; Shinoki T; Shiraga H; Inoue T; Fujita H; Bonno M; Nagao M; Kaneko H.
Different pharmacoresistance of focal epileptic spasms, generalized epileptic spasms, and generalized epileptic spasms combined with focal seizures.
Epilepsia Open 7(1), 85-97, 2022, Mar
- 9) 越智元春、土屋弘樹、井上拓志、清水順也、久保俊英
侵襲性肺炎球菌感染症に合併した急性感染性電撃性紫斑病
日本小児科学会雑誌, 125 巻 10 号, 1465-1470 2021 年
- 10) 清水 順也
腎性尿崩症
小児内科, 53 巻, 593-597 2021 年
- 11) 古城 真秀子
こどもの糖尿病
健康教室, 増刊号,16-18 2021 年 11 月
- 12) 西村佑真、樋口洋介、藤原進太郎、向井敬、清水順也
上腕三頭筋化膿性筋炎が疑われた 3 歳女児例
小児放射線学会雑誌, 37 巻 2 号, 160-165 2021 年 10 月 29 日

- 13) 藤原進太郎、中原康雄、大倉隆宏、浮田明見、花木祥二郎、石橋脩一、高橋雄介、神農陽子
精巣上体炎の治療中に全般性精巣梗塞を認め精巣摘除に至った1例
泌尿器科紀要, 67 巻 7 号, 343-347 2021 年 7 月 31 日
- 14) 森 茂弘
ビリルビン測定装置
周産期医学, 51 巻 10 号, 1437-1440 2021 年 10 月 10 日

学会発表

- 1) 清水 順也
Na, K の異常
Renal Weekend よくわかる輸液セミナー 2020 2021 年 9 月 20 日
- 2) 久保 俊英
SGA 児の成長と発達 そして成長ホルモン治療のもたらすもの
第 65 回日本新生児成育医学会・学術集会(札幌市) 共催セミナー8 2021 年 5 月 9 日
- 3) 久保 俊英
グラフから見る小児の成長障害～学校医の心得～(WEB)
Nordicare Clinical Web Seminar@Okayama 2021 年 10 月 21 日
- 4) 久保 俊英
小児肥満と生活習慣病～そして SGA 性低身長症～(WEB)
Nordiscience Web Seminar 2021 年 11 月 18 日
- 5) 古城 真秀子
小児のすこやかな成長を考える～SGA 性低身長症と Noonan 症候群の治療経験～
nordicare@Clinical Web Seminar 2021 年 10 月 21 日
- 6) 古城 真秀子
ファブリー病～早期診断の重要性～
高梁医師会学術講演会 2021 年 12 月 16 日
- 7) 古城 真秀子
ファブリー病～早期診断の重要性～
Front Line Seminar 兵庫県の小児医療 2022 年 1 月 20 日
- 8) 藤原 進太郎
Yersinia pseudotuberculosis 感染の関与が考えられた難治性川崎病
第 6 回岡山川崎病・小児循環器病研究会 2021 年 11 月 18 日

講演会

- 1) 藤原 進太郎
重症インスリン受容体異常症の一例
第 19 回岡山臨床小児内分泌代謝研究会 2022 年 2 月 21 日
- 2) 森 茂弘
当院における川崎病治療の変遷
第 2 回 OMC 小児 web カンファレンス 2021 年 4 月 21 日
- 3) 森 茂弘
川崎病の BCG 接種痕の変化はなぜ起こる？
第 3 回 OMC 小児 web カンファレンス 2021 年 7 月 21 日

座長

- 1) 第 81 回岡山腎疾患懇話会 2021 年 10 月 2 日
一般演題 セッション II
清水 順也

- | | |
|--|------------------|
| 2) 第 52 回全国学校保健・学校医大会 in 岡山
清水 順也 | 2021 年 10 月 30 日 |
| 3) 第 34 回日本小児救急医学会
久保 俊英 | 2021 年 6 月 19 日 |
| 4) 第 54 回日本小児内分泌学会・学術集会
モーニング教育セミナー1(WEB)
久保 俊英 | 2021 年 10 月 29 日 |
| 5) 第 5 回遺伝カウンセリングコース
疾患特異的治療の利用できる遺伝性疾患の遺伝カウンセリング
古城 真秀子 | 2021 年 5 月 22 日 |
| 6) 小児科医が知っておきたい希少疾患(ゴーシェ病)
ゴーシェ病の早期診断のポイント
古城 真秀子 | 2021 年 11 月 24 日 |
| 7) 岡山ライゾーム病セミナー
大阪市立大学ゲノム診療科・小児科におけるファブリー病診療の実際
古城 真秀子 | 2021 年 11 月 26 日 |